

小林正人 CV

1957年 東京生まれ
東京および福山在住

個展

2019	「画家とモデル」 シュウゴアーツ（東京）
2016	「Thrice Upon A Time」 シュウゴアーツ（東京）
2014	「名もなき馬」 シュウゴアーツ（東京）
2013	「絵画、それを愛と呼ぶことにしよう vol.9 小林正人+杉戸洋」 ギャラリーαM（東京）
2012	「LOVE もっとひどい絵を！ 美しい絵 愛を口にする以上 2012, spring」 シュウゴアーツ（東京） 「ART TODAY 2012 弁明の絵画と小林正人」 セゾン現代美術館（長野）
2010	「LOVE もっとひどい絵を！ 美しい絵 愛を口にする以上」 シュウゴアーツ（東京）
2009	「この星の絵の具」 高梁市成羽美術館（岡山）
2007	「ライトペインティング」 シュウゴアーツ（東京）
2006	「The Nude」 シュウゴアーツ（東京） 「光」 高橋コレクション（東京）
2005	「Starry Paint」 フートベカートギャラリー（アントワープ、ベルギー）
2004	「星の絵の具」 シュウゴアーツ（東京） 「Starry Paint」 テンスタ・クンストハーレ（ストックホルム、スウェーデン）
2002	「Paintings in Situ」 Rice Gallery by G2（東京）
2001	「Another “Son of Painting”」 S. Cole Gallery（アントワープ、ベルギー） 「Son of Painting」 S.M.A.K. /アントワープ市立現代美術館（アントワープ、ベルギー）
2000	佐賀町エキジビットスペース（東京） 「小林正人展」 宮城県美術館（仙台）
1998	「夜に」 佐谷画廊（東京）
1997	「新作展」 佐谷画廊（東京）
1995	「新作ペインティング&ドローイング」 佐谷画廊（東京）
1993	「新作展」 佐谷画廊（東京）
1992	「絵画の子」 佐谷画廊（東京）
1991	「空戦」 佐谷画廊（東京）
1989	「Masato Kobayashi 1987-88」 佐谷画廊（東京）
1986	「第2回新世代展」 佐谷画廊（東京）
1985	「絶対絵画」 鎌倉画廊（東京）

グループ展

2020	Upcoming：明治神宮（東京） Upcoming：「生命の庭 8人の現代作家が見つけた小宇宙」東京都庭園美術館（東京） 「燦三と照りつける太陽で、あつさ加わり体調を崩しがちな季節ですが、規則正しく健やか奈日々をお過ごしください。展」西武渋谷店 B館 8階＝美術画廊・オルタナティブスペース（東京） 「MOMAT コレクション」東京国立近代美術館（東京）
------	---

ShugoArts

	「コレクション展示 第 IV 期」宮城県立美術館（宮城）
2019	「星座と出会い系、もしくは絵画とグループ展について」パープルルームギャラリー（東京） 「ここからむこうまで 広島から発信する現代アート特別展」尾道市立美術館（広島） 「MOMAT コレクション」東京国立近代美術館（東京） 「MOT コレクション第 2 期 ただいま／はじめまして」東京都現代美術館（東京） 「百年の編み手たち—流動する日本の近現代美術—」東京都現代美術館（東京） 「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京）
2018	「バブルラップ」熊本市現代美術館（熊本） 「ニュー・ウェイブ 現代美術の 80 年代」国立国際美術館（大阪） 「アニマルハウス in 富山」三沢厚彦 ANIMALS IN TOYAMA、富山県美術館（富山） 「どう生きるか #2 六本木にて」シュウゴアーツ（東京） 「アニマルハウス in 道後」道後オンセナート 2018、振鷺亭（愛媛） 「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京）
2017	「あら まほし Art, anything to access a world」東京都渋谷公園ギャラリー（東京） 「三沢厚彦 アニマルハウス謎の館」渋谷区立松濤美術館（東京） 「シュウゴアーツショー 1980 年代から 2010 年代まで」シュウゴアーツ（東京） 「色で楽しむ現代美術」千葉市美術館（千葉） 「紐帯展 日中現代芸術家交流会」寧波美術館（浙江） 「鉄道絵画発→ピカソ行 コレクションのドア、ひらきます」東京ステーションギャラリー（東京） 「蜘蛛の糸」豊田市美術館（名古屋） 「美藝礼賛—現代美術も古美術も」セゾン現代美術館（長野）
2016	「恋する現代アート」セゾン現代美術館（長野） 「生きとし生けるもの」ヴァンジ彫刻庭園美術館（静岡） 「TABLE OF THREE」シュウゴアーツ（東京） 「リニューアルオープン記念 高松市美術館コレクション展—いま知りたい、私たちの現代アート」高松市美術館（香川） 「村上隆のスーパーフラット・コレクション—蕭白、魯山人からキーファーまで」横浜美術館（神奈川）
2015	「シュウゴアーツ：毎週末の画廊、三宿 SUNDAY の隣」シュウゴアーツ（東京） 「Pass」Mullem, Huise, Wannegem Lede（ベルギー） 「MOMAT コレクション誰がためにたたかう？」東京国立近代美術館（東京） 「セゾン現代美術館コレクション展 手と目」セゾン現代美術館（長野） 「高橋コレクション展 ミラー・ニューロン」東京オペラシティー アートギャラリー（東京） 「ライブドローイング 横浜絵巻 石田尚志、O JUN、小林正人」横浜美術館前広場（神奈川） 「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京）
2014	「DOMMUNE University of the Arts-Tokyo Arts Circulation-THE 100 JAPANESE CONTEMPORARY ARTISTS」DOMMUNE（東京）／アーツ千代田3331（東京） 「From a Quiet Distance」PARKHAUS im Malkastenpark（デュッセルドルフ、ドイツ） 「RE: PAINTED 'PAINTING' FROM THE COLLECTION」S.M.A.K.（アントワープ、ベルギー） 「絵画の輪郭」シュウゴアーツ（東京）
2013	「高橋コレクション展 マインドフルネス！」鹿児島県霧島アートの森（鹿児島）／札幌芸術の森美術館（札幌） 「ひとの姿 人のかたち」新潟県立万代島美術館（新潟） 「Re: Quest - Japanese Contemporary Art since the 1979s」ソウル大学校美術館（ソウル、韓国） 「アートがあれば II—9人のコレクターによる個人コレクションの場合」東京オペラシティー

ShugoArts

	<p>アートギャラリー（東京）</p> <p>「ヴァンジ彫刻庭園美術館 コレクション展 この星のうえで」ヴァンジ彫刻庭園美術館（静岡）</p> <p>「千紫万紅ーいつも現代」セゾン現代美術館（長野）</p> <p>「プレイバック・アーティスト・トーク」東京国立近代美術館（東京）</p>
2012	<p>「2nd Western China International Art Biennale」TianYe Art Museum（銀川、中国）</p> <p>「LOVE LOVE SHOW」鞆の津ミュージアム（広島）</p> <p>「自由になれるとき 現代美術はこんなにおもしろい！」岡山県立美術館（岡山）</p>
2010	<p>「The Burden of Representation : Abstraction in Asia Today」Osage kwun tong（香港、上海）</p> <p>「Living with Art-Contemporary Art from Japan and Taiwan」Yi&C. Contemporary Art（台北、台湾）</p> <p>「MOTコレクション 入り口はこちら、、、なにがみえる？」東京都現代美術館（東京）</p> <p>「ドロ잉 イン ザ ダーク」東京国立近代美術館（東京）</p> <p>「メモリー／メモリアル 65年目の夏に」広島市現代美術館（広島）</p> <p>「Mediations Biennale」ポズナン国立美術館（ポズナン、ポーランド）</p>
2009	<p>「The Biennale Knokke Zoute 2009」クノック（ベルギー）</p> <p>「Fair Market」Fruit and Flower Deli（ニューヨーク）</p> <p>「現代美術の展望 12人の地平線」東京ステーションギャラリー（東京）</p>
2008	<p>「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京）</p> <p>「ムーンライトショー」@ JOTA CASTRO STUDIO（ブリュッセル、ベルギー）</p>
2007	<p>「ポートレートセッション」広島市現代美術館（広島）</p> <p>「天空の美術」東京国立近代美術館（東京）</p>
2006	<p>「空にふれるまでのあいだ」ヴァンジ彫刻庭園美術館（静岡）</p> <p>「MOT コレクション」東京都現代美術館（東京）</p> <p>「サマーショー」S.M.A.K. /ゲント市立現代美術館（ゲント、ベルギー）</p>
2004	<p>「アートがあれば WHY NOT LIVE FOR ART」東京オペラシティアートギャラリー（東京）</p>
2003	<p>「ティラナ・ビエンナーレ：U-Topos」（ティラナ、アルバニア）</p> <p>「Gelijk het leven is」Vlaamse opera Gent（ゲント、ベルギー）</p>
2002	<p>「エモーショナル・サイト」佐賀町食糧ビルディング（東京）</p> <p>「未完の世紀：20世紀がのこすもの」東京国立近代美術館（東京）</p>
2001	<p>「先立未来」ルイジペッチ現代美術センター（プラトー、イタリア）</p>
2000	<p>「Epifanie - Actuele Kunst en Religie」（レーベン、ベルギー）</p> <p>「A CASA DI…」ミケランジェロ・ピストレット財団（ビエラ、イタリア）</p> <p>「Over the Edges」S.M.A.K. /ゲント市立現代美術館（ゲント、ベルギー）</p>
1999	<p>「思わぬ発見」ワトゥー（ベルギー）</p> <p>「開館記念展」S.M.A.K. /ゲント市立現代美術館（ゲント、ベルギー）</p>
1996	<p>「赤い扉」ゲント現代美術館（ゲント、ベルギー）</p> <p>「サンパウロビエンナーレ」（サンパウロ、ブラジル）</p> <p>「ゲント現代美術館展」オランダ協会（パリ、フランス）</p>
1995	<p>「現代美術への視点：絵画、唯一なるもの」東京国立近代美術館（東京）／京都国立近代美術館（京都）</p> <p>「VOCA展 '94, '95受賞作品展」第一生命南ギャラリー（東京）</p> <p>「視ることのアレゴリーー1995：絵画・彫刻の現在」セゾン美術館（東京）</p> <p>「VOCA展 '95—新しい平面の作家たち—」上野の森美術館（東京）</p>
1994	<p>「光と影：うつろいの詩学」広島市現代美術館（広島）</p>

ShugoArts

	「VOCA展 '94－新しい平面の作家たち－」上野の森美術館（東京）
1992	「筆あとの誘惑」京都市美術館（京都） 「TEMPUS VICTIM 生きられた時間：MTMコレクションの80年代」エスパス小原（東京）
1991	「色相の詩学展 現代美術・平面からのメッセージ」川崎市市民ミュージアム（神奈川）
1989	「ドローイングの現在」国立国際美術館（大阪） 「現代美術への視点 色彩とモノクローム」東京国立近代美術館（東京）／京都国立近代美術館（京都）
1987	「現代のアイコン」埼玉県立近代美術館（埼玉）
1986	「開館5周年記念 現代日本の美術3 戦後生まれの作家たち(第1期)」宮城県美術館（仙台）

パブリックコレクション

千葉県美術館（千葉）
第一生命保険株式会社（東京）
大和プレス／大和ラヂエーター製作所（広島）
いわき市立美術館（福島）
宮城県美術館（仙台）
東京国立近代美術館（東京）
東京都現代美術館（東京）
新潟県立万代島美術館（新潟）
セゾン現代美術館（長野）
S.M.A.K. /ゲント市立現代美術館（ベルギー）
高橋コレクション（東京）
高松市美術館（高松）
東京ステーションギャラリー（東京）
宇都宮美術館（栃木）
ヴァンジ彫刻庭園美術館（静岡）

出版

2020	「この星の絵の具 [中] ダーフハウス通り52」アートダイバー
2018	「この星の絵の具 [上] 一橋大学の木の下で」アートダイバー